

川教計審発第 1 号
令和 8 年 1 月 1 9 日

(案)

川越市教育委員会
教育長 新 保 正 俊 様

川越市教育振興基本計画審議会
会 長 山 崎 真 之

第四次川越市教育振興基本計画について（答申）

令和 7 年 7 月 2 3 日付け川教総第 5 3 7 号をもって諮問のあった標記の件につきましては、下記の意見を添え、別添のとおり答申します。

記

- 1 基本理念である「ともに学び続ける力で未来を拓く川越市の教育」の実現に向け、市民一人ひとりが、多様な他者と理解し合い、生涯にわたって学び続けながら、自らの人生を切り拓いていけるよう、他の関連する計画との整合・連携も図りながら、計画の各施策を着実に推進していただきたい。
- 2 こどもたちが、自ら学び考え、他者と学びあい成長できるよう、教育委員会が家庭・地域・学校の連携を促しながら、一体となって、計画的・継続的に各施策に取り組んでいただきたい。また、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成するために、学校施設の整備・改修を適切に実施するとともに、研修を活用した教職員の資質・能力の向上や、こどもたちの多様な教育的ニーズへの対応、働き方改革の推進を通じた教職員の負担軽減など、教育環境の確保を図っていただきたい。
- 3 公民館、図書館、博物館などの社会教育施設は、市民が気軽に使える生涯学習活動の場として、社会状況の変化への対応を行いながら、学校、地域や施設間での連携を図り、市民のニーズに合った事業や学習機会の提供を行うなど、学び続けることのできる環境づくりを図っていただきたい。
- 4 本市には先人から受け継いだ多くの歴史遺産、伝統文化があり、各地域ではそれぞれの特色を生かした活動が行われている。市民が地域の歴史や伝統文化への興味関心を高め、郷土に誇りや愛着を持てるよう、文化財の保存と活用、文化財についての情報発信、学校教育においてもふるさと学習の充実などの取組を推進していただきたい。